

- ① 配本希望部数をご記入のうえFAXにてご連絡をお願いいたします。希望部数を優先して配本しておりますので、ぜひお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸甚です。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

新刊委託

部数

法政大学出版局 2025年3月17日配本 定価6050円(本体5500円+税)

四六判上製・526頁

アンリ・ベルクソン 著/平賀裕貴 訳

《叢書・ユニベルシタス 980》

ベルクソン書簡集Ⅲ 1925-1940

ISBN978-4-588-00980-8 C1310

★ 最終巻には、両大戦間期からドイツによる占領初期にあたる1925～1940年までの書簡を取める。慢性的な病と体調不良に見舞われながらも『二源泉』をはじめとする晩年の思索を深化させ、1927年にはノーベル文学賞を受賞。フランス的な知性を代表する著名人として多忙な日々を送りつつ、反ユダヤ主義の拡大するヨーロッパの未来を案じつつける晩年の姿が明らかに。巻末には、全3巻分の人名索引を付す。

【哲学・思想】

☆ついに全3巻が完結! 『ベルクソン書簡集I』『II』、ドゥルーズ『ベルクソニズム』(小局刊)重版とともに。

【別刷注文書あり】

新刊委託

部数

法政大学出版局 2025年3月14日配本 定価3740円(本体3400円+税)

四六判上製・338頁

宮永 孝 著

仮面の奇人 三木清

ISBN978-4-588-46026-5 C0023

戦前期日本の哲学界および論壇のスターであり、治安維持法下で獄死を強いられた三木清(1897-1945)。独仏留学生活の内実からその著作活動の特異な性格、パスカル研究やスピノザ論の筆致、マニラでの微用体験まで、きわめて人間くさい生身の生涯を、戦争の時代背景のうちに跡づける。法政大学社会学部で長く教鞭をとり、近代日本の西洋諸学・語学導入過程を広く探究してきた著者による批判的ポートレート。

【評伝】

☆関連書: 関東暁『植民地朝鮮とく近代の超克』、牧野英二『京都学派とディルタイ哲学』(小局刊)。

新刊委託

部数

法政大学出版局 2025年3月25日配本 定価3520円(本体3200円+税)

四六判上製・256頁+口絵8頁

モーリス・ラヴェル 著/笠羽映子 編訳

ラヴェル著述選集

ISBN978-4-588-41040-6 C1073

★ バレエ音楽『ボレロ』『ダフニスとクロエ』をはじめとする数々の名曲を生み出したフランスの偉大な音楽家、モーリス・ラヴェルの主要な評論、書簡、講演原稿を集める。20世紀初頭のフランス音楽界の賑わいを伝える演奏会評やジャズ・ブルース・現代音楽論、貴重な自作解題、自伝的エッセイまで、ラヴェルの知られざる内面と芸術観、創作に対する姿勢を明らかにする日本オリジナル選集。

【音楽】

☆【生誕150周年!】2025年はラヴェル作品の演奏会や録音が多数企画され、注目を集めるメモリアル・イヤーです!

新刊委託

部数

法政大学出版局 2025年3月31日配本 定価4950円(本体4500円+税)

A5判上製・360頁

法政大学大原社会問題研究所、進藤理香子 編著

《法政大学大原社会問題研究所叢書》

日本とウクライナ 遠くて近いパートナー 歴史・挑戦・未来 ISBN978-4-588-62554-1 C1330

★ 19世紀末より連綿と続く日本とウクライナの国際交流の歴史をたどり、両国の協力関係の現在と未来を展望する日ウ共同研究の成果。東日本大震災以後の原発事故処理問題、ロシア・ウクライナ戦争における避難民・子どもの人権問題、そして戦争がグローバルサウスおよびアジアに及ぼす影響など喫緊のテーマも交え、戦禍のキーウ・国立科学アカデミーと大原社会問題研究所を繋いで交わされた最新の議論がここにある。

【ウクライナ研究】

☆関連書: 塩川伸明編『ロシア・ウクライナ戦争』(東京堂出版)、西山美久『ロシアの愛国主義』(小局刊)など。

新刊委託

部数

法政大学出版局 2025年3月31日配本 定価4620円(本体4200円+税)

A5判上製・332頁

小野坂 元 著

ILOの対中関与と上海YWCA 労働と平和の国際機構間関係史 1919-1946 ISBN978-4-588-62553-4 C3031

第一次世界大戦後に設立された国際労働機関ILO。当初、欧米を重視していたILOだが、中国で労働運動が高揚したのをきっかけに世界に目を向け始める。治外法権の租界があり、女性や児童が劣悪な条件で働く上海で、ILOはなぜ、民間団体YWCAと協力できたのか。日中戦争期の抗日運動の国際化についての新知見をもふまえ、民族・階級・ジェンダーから戦争と平和を考察する。

【国際政治】

☆関連書: 松本佐保『バチカンと国際政治』千倉書房、吉澤誠一郎『愛国とボイコット』名古屋大学出版会など。

新刊委託

部数

法政大学出版局 2025年4月3日配本 定価4730円(本体4300円+税)

四六判上製・280頁

山本真鳥 著

もうひとつのオセアニア史 プランテーション開発と年季契約労働 ISBN978-4-588-35011-1 C1022

アフリカからの奴隷貿易終結後、世界的にプランテーションでの低賃金労働力を供給したのは「年季契約労働」の仕組みだった。オセアニアにはアジア地域から諸島間の移動を伴う年季契約労働者が導入され、半奴隷状態のなか、各地には新たな移民コミュニティが形成された。旧宗主国にも先住民にも帰属せず、ポストコロニアルの議論からさえ排除されがちな移民たちの苦渋の歴史に光をあてる力作。

【文化人類学】

☆関連書: 山本真鳥『オセアニアの今』(明石書店)、同『ハワイを知るための60章』(共編、明石書店)。

ご担当者様 氏名: [] 担当ジャンル: [] TEL: []

【お願い】

配本の際、ご担当者様の記名が必要となりました。
ご面倒とは存じますが、ご担当者様欄のご記入をお願い申し上げます。

Fax. 03-5214-5542

法政大学出版局 〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3

Tel. 03-5214-5540 E-mail: sales@h-up.com URL: https://www.h-up.com/